



Technical Note 04-37

Select document

By Jamras Komoncharoensiri
Technical Note 04-47

(原題: Using Command Select Document (2004))

概要

Select document は、バージョン 2004 の新しいコマンドです。このコマンドの登場により、ファイル選択の方法に幅が生まれました。

コマンドシンタックス

Select document (directory; fileTypes; title; options{; selected}) -> String

パラメータ	タイプ	説明
Directory	テキスト 倍長整数	<ul style="list-style-type: none">文書選択ダイアログに表示されるデフォルトのディレクトリ"=" 「マイドキュメント」 (Windows) あるいは「書類」 (MacOS)ディレクトリ履歴の番号
FileTypes	テキスト	<ul style="list-style-type: none">選択を許可しない文書タイプの配列*=すべての文書タイプを選択可にする
Title	テキスト	文書選択ダイアログに表示される文章
Option	倍長整数	選択オプション 定数 <u>Multiple files</u> (1) <u>Package open</u> (2) <u>Package selection</u> (4) <u>Alias selection</u> (8) <u>Use Sheet Window</u> (16)
Selected	テキスト配列	アクセスパス+ファイル名の配列
Function Result	文字	選択ファイル名

特定のディレクトリを開く

デフォルトのディレクトリを「アプリケーション」フォルダに設定します。

```
C_TEXT($filter;$title)
C_LONGINT($option)
```

```
$defaultDIR:=":Applications:"
$filename:=Select document($defaultDIR;$filter;$title;$option;$arrDocument)
```

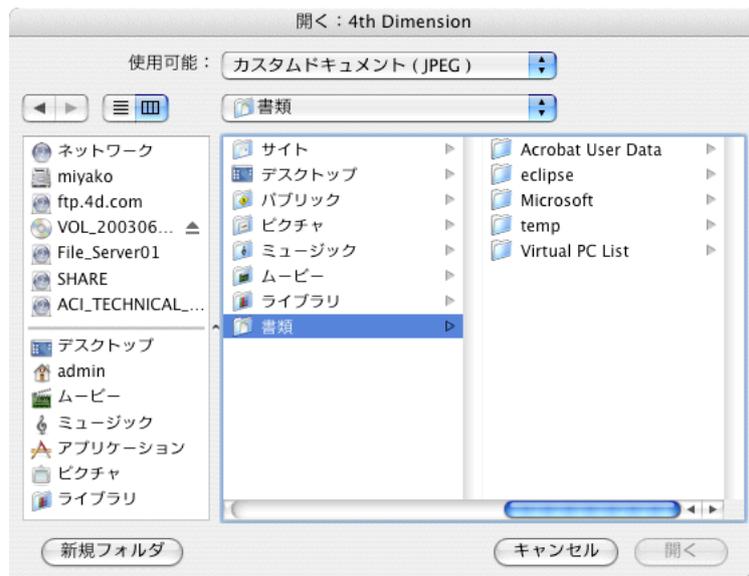


ファイルタイプを限定する

JPEG あるいは TEXT ファイルだけが選択できるように設定します。複数のファイルタイプは、セミコロンで分けます。

```
C_TEXT($filter;$title;$defaultdir)
C_LONGINT($option)
```

```
$filter:="JPEG;TEXT" ` "jpg;txt" for windows
$filename:=Select document($defaultdir;$filter;$title;$option;$arrDocument)
```



除外されたファイルタイプは、Windows の場合、表示されません。Macintosh の場合、選択不可ファイルとして表示されます。すべてのファイルタイプを選択可能にするためには、パラメータに*を指定します。

複数選択を許可する

パラメータ option に Multiple files (あるいは 1)を加えることによって、複数選択を許可することができます。

C_TEXT(\$filter;\$title;\$defaultdir)

\$option:=Multiple files

\$filename:=Select document(\$defaultDIR;\$filter;\$title;\$option;\$arrDocument)



選択された文書のパスは、配列\$arrDocument に格納されます、

式	値
\$arrDocument	5 エLEMENT
\$arrDocument	0
\$arrDocument{0}	**
\$arrDocument{1}	"miyako:Users:admin:Library:Application Support:Microsoft:Old Fonts:Copperplate Gothic Bold"
\$arrDocument{2}	"miyako:Users:admin:Library:Application Support:Microsoft:Old Fonts:Comic Sans MS"
\$arrDocument{3}	"miyako:Users:admin:Library:Application Support:Microsoft:Old Fonts:Century Gothic"
\$arrDocument{4}	"miyako:Users:admin:Library:Application Support:Microsoft:Old Fonts:Arial Black"
\$arrDocument{5}	"miyako:Users:admin:Library:Application Support:Microsoft:Old Fonts:Arial"

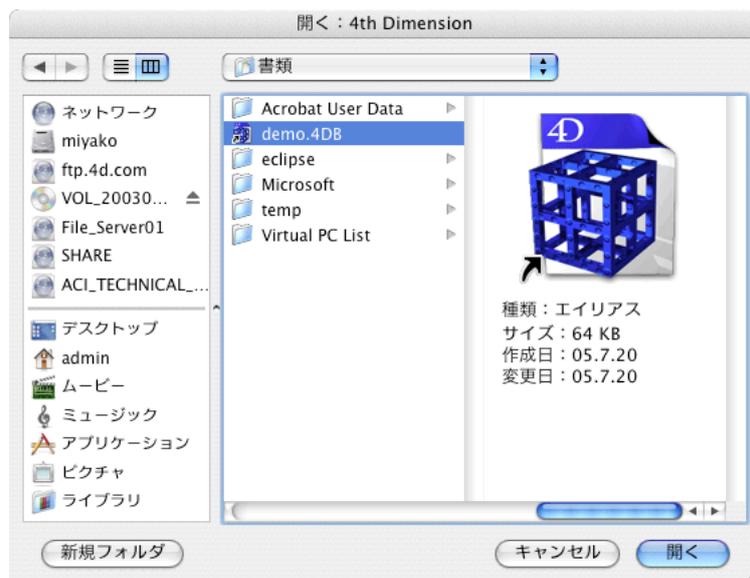
エイリアスの選択を許可する

選択ダイログで、ファイルのエイリアスを選択可能にすることもできます。また、複数の選択オプションを適用することも可能です。

C_TEXT(\$filter;\$title;\$defaultdir)

\$option:=Multiple files +Alias selection ` 1+8

\$filename:=Select document(\$defaultDIR;\$filter;\$title;\$option;\$arrDocument)



配列\$arrDocument には、実際のファイルへのパスが代入されます。

パッケージの選択を許可する (MacOS のみ)

MacOS では、パッケージを選択することも可能です。

C_TEXT(\$filter;\$title;\$defaultdir)

\$option:=Package selection ` 2

\$filename:=Select document(\$defaultDIR;\$filter;\$title;\$option;\$arrDocument)



前述のオプションと組み合わせて、パッケージのエイリアスを選択する、といった応用も可能です。その場合、配列\$arrDocumentには、実際のパッケージへのパスが代入されます。

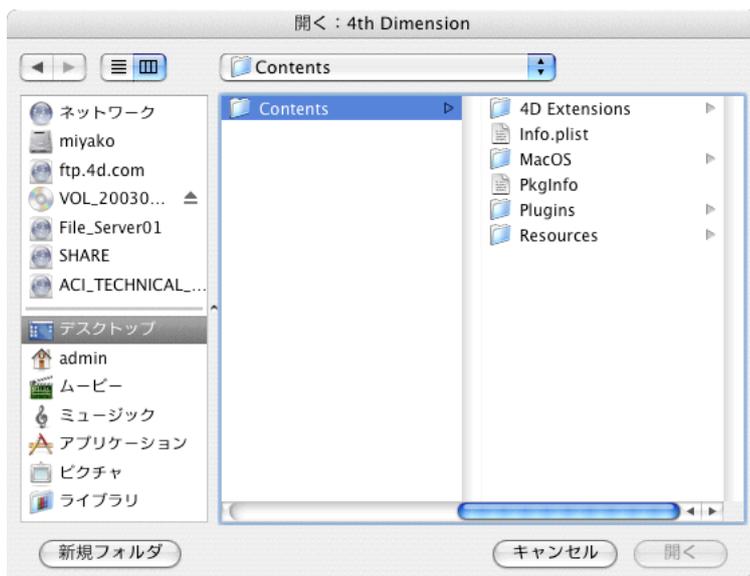
パッケージの中身の選択を許可する (MacOS のみ)

パッケージの中身を選択できるようにするには、Package open、Package selection 両方の値をパラメータ option に渡します。

```
C_TEXT($filter;$title;$defaultdir)
```

```
$option:=Package open+Package selection ` 2+8
```

```
$filename:=Select document($defaultDIR;$filter;$title;$option;$arrDocument)
```



注記:

パッケージのエイリアスを通してパッケージを開いた場合でも、配列\$arrDocumentに代入されるのは実際のパッケージのパスです。